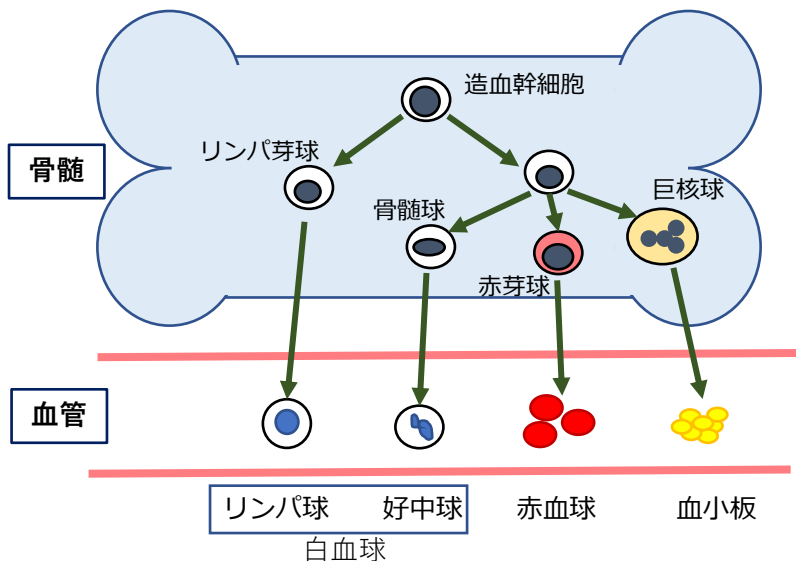


骨髄とは？



骨髄は骨の中にある血液を製造する工場のようなものです。

骨髄は、血液細胞のもととなる造血幹細胞を含んでいます。この造血幹細胞が分裂・増殖し、赤血球、白血球、血小板などの血液細胞に成長してゆきます。

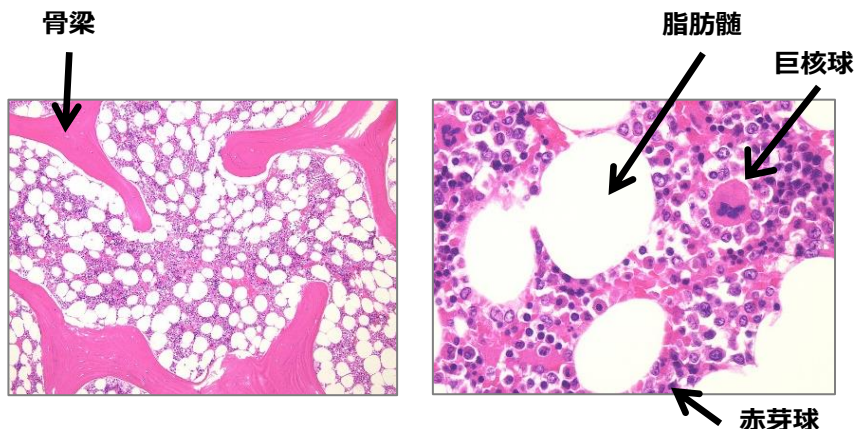
骨髄の働きが悪くなると、血液細胞が作られなくなります。

白血球が減ると免疫力が低下し、感染症にかかりやすくなったり、重症化しやすくなります。

赤血球が減った状態を貧血と言い、めまいやだるさ、動悸などの症状が出ます。

血小板は血を止める働きをしているため、減ると血が出やすく、止まりにくくなります。

骨髓組織



これは正常な骨髓のスライド標本を、ヘマトキシリン・エオジン染色（HE染色）という最も一般的な方法で染色し、顕微鏡で見た像です。

低倍率（100倍：左の図）で、骨梁（こつりょう）という、骨を内部から支えるスポンジ状の固い網目構造に囲まれているのが骨髓組織です。

高倍率（400倍：右の図）ではひとつひとつの細胞をより詳しく観察できます。

HE染色では細胞の核が青～紫色に染まります。

大型の目立つ細胞は巨核球という、血小板のもとになる細胞です。そのほか、この画像ではっきりと区別することは難しいのですが、赤芽球や骨髓球、リンパ芽球など、様々な成長段階の細胞が見られます。